

# 地域医療実習

(地域医療システム学講座)

【はじめに】広島県において地域医療の構築は重要な課題である。学外の最前線の現場で臨床実習を行うことにより、地域医療の現状・魅力・課題等を実感し、地域への貢献を目指す学生の育成とともに、医療人としての幅広い人間形成を目指す。

## 【実習目標】

### 一般目標：

地域医療の在り方と現状および課題を理解し、地域社会で求められる医療・保健・福祉・介護の活動について学び、地域医療に貢献するための能力を身に付ける。

### 到達目標：

- 1) 地域のプライマリ・ケアを経験する。
- 2) 病診連携・病病連携を体験する。
- 3) 地域の救急医療、在宅医療を体験する。
- 4) 保健、医療、福祉、介護の多職種連携を体験する。
- 5) 地域における疾病予防・健康維持増進の活動を体験する。
- 6) 中山間地の医療について理解を深める。

### 実習場所：

中山間地の地域医療基幹病院を中心とし診療所、福祉施設など。

## 【実習内容】

1. 外来実習（プライマリ・ケア、救急医療外来）
2. 病棟実習
3. 訪問診療または訪問看護実習（在宅医療）
4. 社会福祉施設実習（老人保健施設、特別養護老人ホームなど）
5. 看護体験実習
6. 多職種連携実習（ケアカンファランス、地域連携室など）
7. その他（主治医意見書記載、高齢者総合的機能評価など）

### 【担当教員】

医歯薬保健学研究院地域医療システム学 松本正俊、石田亮子、木村一紀

### 【実習病院（実習責任者）】

1. 庄原赤十字病院（中島浩一郎院長）
2. 神石高原町立病院（原田 亘院長）
3. 安芸太田病院（武澤 巖院長）
4. 公立世羅中央病院（末廣 眞一院長）
5. 公立みつぎ総合病院（沖田 光昭副院長）

### 【週間スケジュール】

3月に配布する「地域医療実習の手引き」を参照。

### 【実習評価】

1. 出席状態および態度、能力などについて実習病院指導医による評価（指導医⇒学生評価シート）。
2. 1週間の振り返りの発表およびレポート作成（大学担当医による評価）
3. 学生による実習評価（学生⇒実習評価シート）。

### 【集合場所・時間】

実習先病院ごとに異なるため「地域医療実習の手引き」を参照。

### 【注意事項】

1. 広島大学医学部学生として適切な身だしなみ・服装・言葉使い。
2. 時間厳守。
3. 白衣、名札、聴診器など持参。
4. 宿泊に必要なタオル、洗面道具など持参。
5. その他の注意事項も含めて「地域医療実習の手引き」を事前に確認する事。

### 【連絡先】

外線：082-257-5894、内線：5894

メールアドレス：tiikisis@hiroshima-u.ac.jp